



繊維の登場により生糸生産量は減少

養蚕業にも影響がもたらされました。
 戦前から戦中にかけての戦時体制により生糸が需要されなくなりました。
 戦後は生糸が最大の輸出品の地位を失い、生糸の需要は大きく減少しました。
 さらに戦後の高度経済成長により、繊維の需要は大きく増加しました。



2019年世界女子ハンドボール選手権大会 やまがシルク製メダルリボン

開催（2019年11月30日～12月15日）に熊本において開催された2019年世界女子ハンドボール選手権大会用に特別に用意された、やまがシルク100%で作られたリボンです。
 やまがシルクの生糸を国内で養蚕し、数百年の伝統と技術に基いて育てられ、上質の絹織物の生地である「戦工舞」の技術を駆使して織り出されています。トップアスリートへの最高のパフォーマンスをサポートし、競技場ではその輝きと、シルク本来の優しさを、上質な肌触りを併せ持つ最高の一品です。
 このリボンには、中心に、熊本県は八代を中心として作られた刀剣の産地である肥後県（旧くつ）をモチーフにしたメダルが描かれています。熊本を象徴する花である桜の花を熊本の伝統的工芸品である熊手彫りによって表現しています。



無敵前夜でできた 絹糸を用いたスカーフ



SILK on VALLEY